

市民の共同による事業の企画・運営

～「図書館をもっと魅力的な場所にする」ためのワークショップ～



春日市民図書館（福岡県春日市） <http://www.library.city.kasuga.fukuoka.jp>

基本データ（数値はH25年現在）

住所	春日市大谷6丁目24番地
電話番号	092-584-4646
人口（図書館が所在する市町村）	111,633人
職員数（うち有資格者数）	15人（13人）
蔵書数	320,740冊
登録者数	52,114人
年間貸出冊数（H24）	909,490冊

目的・趣旨

事業の企画・運営に図書館利用者の参加を促すことにより、図書館の運営に対する市民の関心を高める。

また、図書館活動のサポーターグループの形成と組織化を図り、市民の意向をより反映した図書館運営を実現する。

取組概要

「市民図書館をもっと魅力的な場所とするためにどんなことができるか」をテーマとしたワークショップを実施し、その参加者を中心として事業企画サポーターを組織した。計画中であった図書館施設の改修や図書館キャッチフレーズの制定とも連動して、市民との共同による図書館事業の企画・運営を行った。成果として閉館後の図書館を活用した「夜の図書館」や、「おとなの一日図書館員」等の市民参加型事業の実施につながった。



“夜の図書館” 広報ポスター

特徴

ワークショップを「図書館しゃべり場」と名付け、一般の市民だけでなく図書館職員や市職員なども参加して、自由な意見交換の場とした。協議だけでなく他の図書館の見学ツアーなども行って参加者の交流を深め、図書館サポーターとしての組織づくりを行った。



ワークショップ参加者による企画会議。事業の内容だけでなく、図書館施設の改修について、担当設計士も交えた意見交換を行った。



秋の読書週間期間にあわせて市民図書館のキャッチフレーズを公募。市内の中学生による作品に決定し、以後、事業広報等に活用した。



図書館業務スペースの見学や司書業務体験をしてもらう「おとなの一日図書館員」事業。この参加者の中から事業企画サポーターへの参加もあった。



“夜の図書館”のイベントのひとつとして行った「ビブリオバトル」。「図書館の中で本について語る機会を」という企画を実現した。

取組の成果と今後について

市民グループの組織化・常設化は果していないが、利用者参加型の事業はその後も実施しており、

事業ごとにサポーターや参加者が集まり、図書館職員とともに企画・運営を行う方式が継続している。

図書館内に新設した「サポータールーム」の設計には、「図書館しゃべり場」による提案が活かされた。